



~Selamat Berkenalan セラマツト・バーケナラン~

皆さん、初めまして。私達は、マレーシア出身で、プトラ大学の学生です。シャーミとアミルと言います。シャーミ(僕)はプトラジャヤから、アミルはジョホール・バルから参りました。僕と彼は経済を専攻しており、今年が私達が大学で学ぶ最後の年となります。日本に来るのは初めてで、ヤマエ食品工業株式会社のインターンシップとして2か月前に来日して、現在都城に暮らしています。工業分野の経験が全然なかったので、この経験が私達のためになると思います。ここで、色んなものを発見したりして、都城での生活を楽しまたいと思います!



シャーミ ムハンマドさん



アミル ムハンマドさん

東南アジアに位置する、まだ多くの人に知られていない隠れた宝石のようなマレーシアには、絶景の海や緑豊かな熱帯雨林があります。また、マレー人、中国人、インド人など多文化の人々が共に暮らす社会なので、魅力に心惹かれるかもしれません。

マレーシアの歴史は古代マレー王国と貿易港に遡り、インドや中国、そして後にイスラムの文化にも影響を受けました。マレーシアはかつてイギリスに統治されていましたが、1957年8月31日に独立し、現在のマレーシアとなりました。



マレーシアは主に、半島マレーシア (Peninsular Malaysia) と東マレーシアの二つの地域に分けられ、東マレーシアはボルネオという島に位置します。



私達の日本の経験

日本は私の期待を遥かに超えています。清潔さ、親切さ、そして礼儀正しさでも、私の心を捉えています。現在、我が国と異なる気候である大きな山に囲まれた都城市に滞在しており、マレーシアと比較すると涼しいので、大好きになってしまいました。ここにまだ滞在できるので、「帰国する前になるべく様々なことを発見できたらいいなあ」と思っています。

こんなに美しい国に滞在できる機会は、とてもありがたいです。私達は、都城市の大きな会社の一つ、ヤマエ食品工業株式会社でのインターンシップのために来日しました。ここでの経験はすごいことばかりで、全てに目を奪われます。私がおもうに、各国にはそれぞれ、独特の特徴があります。日本は、尊敬と礼儀正しさの文化が他国から際立っているので、訪れるそれぞれの場所で素晴らしい経験ができるでしょう。しかしながら、理解できないことやまだ見つけられていないことも多く、日本には発見したい所や食べてみたい食べ物が、まだまだあります。



私達の都城の経験

粋なデザインや、細心の心配りがされた、居心地良い日本の住居に感動させられました。お帰りなさいといわんばかりの温かい雰囲気を作り出しています。

周辺には、素敵な店もこんなにたくさんあり、様々な新しいものを発見できるでしょう。必要なものを探すのにとっても便利です！



都城の美しさ



都城は驚くほど美しい自然が沢山あることでよく知られています。ここに到着してから、このまちの青々とした緑、風光明媚な山々、そして安らぎで静穏な、五感を魅了する環境に私達は感激させられました。市内にある魅力的な公園、鮮やかな庭、そして絶景の川沿いのエリアは、住民にも観光客にも大自然に浸る機会を頻繁に与えてくれます。

都城の催し

都城には、どんな趣味にも応えられる、興味惹かれる催し物が絶対にあります。歴史好きには、城跡の上に建てられた都城歴史資料館は町の歴史的な象徴として立ち、資料館で歴史的な展示はもとより、周りの全景を見渡すことができます。自然好きには、のどかな関之尾滝に行ってみると、青々とした森、美しいハイキングコース、周りの絶景も味わうことができます。さらに、市内で行う賑やかな祭りや文化ホールや魅力的な公園などが多くあります。都城では新たなことを発見し、いつでも新しいことに挑戦してみるのができます！

結論

ここにいる間により多くのことを発見したくて、この町の文化と美しさに更に浸りたいと思っています。今回の旅は、本当に愉快的な経験に満ちています。自然の絶景から豊富な史跡まで、とても楽しい思い出になっています。次に来的时候には、さらなる穴場を探るのを楽しみにしています。都城の暖

かさとおもてなしのおかげで、ここでの滞在が決して忘れられない経験になっています。次にこの素晴らしい街に戻ってくるのが待ち遠しいくらいです。もっとこの辺りの食文化を味わったり、もっと地元の祭りに参加したり、もっとフレンドリーな住民たちとの繋がりを更に深めたりするのをさらに楽しみにしています！



◇編集部より…

お二人は、2024年5月中旬から約2ヵ月ぐらい都城市に滞在され、先月帰国されました。ここに掲載しきれなかった、マレーシアについて様々な情報も詳しく書いてくださっています。

協会のホームページに、以下のことについて8月下旬に掲載を予定しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページがご覧になれない会員の方で、記事をお読みになりたい方は、協会印刷してお渡してきます。

※ホームページに掲載するマレーシアの情報…人種と民族、マレーシアの州、気候、政治体制、君主、総理大臣、国花、マレーシア料理、マレーシアでの一番高い山、世界最大の地下空洞であるサラワク・チャンバー、世界一大きな花、マレーシアの通貨。東南アジアで最も大きい遊園地、マレーシアの虎、車のブランド、スポーツ、おすすめの観光地





「オボー」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

モンゴルを旅していると「オボー」と呼ばれる積石をあらこちらに見かけます。大昔、モンゴル人は川や山、天にそれぞれの神様がいて信じていて、特に天の神様に生け贄を捧げる儀式を行っていました。その生け贄を捧げた場所を天の神様に分かりやすいように石を積み上げて山のようにしたのが「オボー」です。



もう一つの由来は、行く道、狩猟、獲物が豊富で快適な場所または危険な場所などの見分けをつける手段として木や石で標識を立てていたそうです。オボーはできた場所によって、道のオボー、記念のオボー、泉のオボー、草原のオボーなど色々な種類があります。例えば、道のオボーは旅の道中の安全、泉のオボーは水が湧き出している場所に感謝の気持ち、草原のオボーは県と県の境界などを表します。つまり、祈願と感謝の象徴です。

旅行中、特に草原道にオボーをよく見かけます。みんな、車から降りて、時計回りに三周します。ここでポイント!地面の石を拾って、オボーの上に積み上げ、「我々の旅行が安全であるように」とお祈りをします。

～協会からのお知らせ～

◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう2025

第13回「ワールド・フェスタinみやこのじょう2025」に参加して下さる団体、個人、ボランティアスタッフを募集します。(都城市又は三股町にお住いの方)。皆様のご協力をよろしくお願いします。

日時： 2025年1月26日(日) 12:00～17:00

会場： 都城市総合文化ホール(MJ)

イベント内容： 海外の国や地域の紹介など。

募集対象： 国際交流、国際協力や多文化共生など
ワールドフェスタの目的に沿うもの。

募集内容：

①国や地域紹介ブース

体験交流できるもの。展示のみは不可
(モンゴル、中国、アメリカは除きます。)

②国際交流、国際協力等の団体活動紹介コーナー パネル展示

③個人、団体でのステージ発表

歌やダンスなど。時間は3分～10分以内

④ボランティアスタッフ

- ・前日の会場設営準備(荷物運搬やパネル設置など)
- ・当日のブース準備、終了後の片付け
- ・国紹介ブース補助、ステージ受付・案内
- ・ステージ裏補助等

注意事項：

*希望者多数の場合、調整させていただきますのでご了承ください。

*各ブースの広さは参加数によって調整します。

申込み締切： 2024年11月9日(金)

申込み・問合せ： いずれの募集も事前の申込みが必要です。団体名、お名前、参加内容を電話、E-mailでMIA事務局までご連絡ください。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp



以前のワールドフェスタの様子

◇中国語講座 入門編 受講生募集!

中国語講座を開講します。今まで中国語を勉強していない人のための入門講座です。

日程： 10月3日～10月31日 毎週木曜日(全5回)

時間： 18:30～20:00

場所： 都城市役所北別館 2階 共有会議室

講師： レイカさん (都城市中国国際交流員)

受講料： 無料

定員： 15名(先着順)

お問合せ・お申込み： (一社)都城国際交流協会(MIA)まで電話、E-mailでお願いします。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp



～インフォメーション～

☆都城高専教養講座 楽しく読むアメリカ短編小説
アメリカ文学の名作短編小説を取り上げ、翻訳をとおして実際に読み、その魅力を感じてもらおう講座です。

回	日程	内容
1	10月11日(金)	アメリカの文学の基礎知識
2	10月18日(金)	レイモンド・カーヴァー「大聖堂」講読
3	10月25日(金)	ジュンパ・ラヒリ「病気の通訳」講読

開催日時: 令和6年10月11日、18日、25日(全3回)
午後6時30分～8時00分

対象者: 市民一般 (一般成人、初心者向け)

募集人員: 10人(応募者多数の際は抽選)

場所: 都城高専 図書館1階 ICTみやまルーム

申込期間: 8月30日(金)AM9:00～9月13日(金)必着

講習料: 無料 ※別途、配布資料代等300円が必要。
申込手続: FAX、メール・はがき、インターネットの何れかの方法で、8月30日(金)AM9:00から申込めます。(申込開始日前の申込みは無効となりますのでご注意ください。)

お問合せ先: 都城高専 総務課企画係
(受付時間 平日8:30～17:00)

TEL: 0986-47-1306

お申込み: 原則、電話でのお申込みはできません

FAX: 0986-38-1508

Eメール: kikaku@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

募集案内及び受講申込書はホームページからダウンロードができます。



編集部より

皆さん、こんにちは。

先日、本協会の西田代表理事と国際交流員のヒシゲさんの3人でモンゴルのウランバートル市で開催された「北東アジア市長フォーラム」に参加してまいりました。

モンゴルは20年ほど前の日本語教育キャンプ以来で、当時と比べると、空港も大きく立派になり、まちもかなり整備されていました。それでも人口増加にまちの造成が追いつかず、あちこちで建設工事が行われており、道路も大渋滞でした。

前は、もったのどかな感じがしたのになぁ～。まちって、変わるものですね。ウランバートル市内視察の際、カシミヤ工場に行ったので、自分と家族へのお土産にカシミヤのセーターなどを買って帰り、家で広げていたならば…

なんと、我が家の愛犬アニーちゃんがカシミヤセーターの上にとり横たわっているではありませんか! 良いものって、人間だけでなく、わんこにもわかるんですね。 [亀谷]

皆さん、こんにちは。今回もこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』つづけますよーm(。)m

四国編に突入して最終の4県目!!今回は高知県に行つたつもりいー高知県といえばランキングによると、1位「かつお」、2位「四万十川」、3位「よさこい祭り」なんだそうです。その他にも「坂本龍馬」などの歴史的な人物や景勝地「桂浜」が有名ですね。そんな高知県は土佐の国と呼ばれてたようですが、大和朝廷が成立した時代に「都佐」「波多」と二つの国が大化の改新(645年)のころに一つにまとまったみたいですね。

ほかに文旦(ぶんたん)が有名で全国出荷量の90%以上が栽培されているみたいです。ブンタンはほかにザボンやボンタンと呼ばれ、我々からすると「ボンタン飴」があるのでボンタンのイメージが強いです。日本には江戸時代中期に中国から渡来したといわれ、その時の清国船の船長が謝文旦(しゃぶんたん)に由来すると言われていたんだそうです。 (@^)/~~ シェシェ [西畑]

こんにちは(*^*)

パリオリンピックが開催中です!日本人選手が活躍されているのを朝のニュース速報で知り、感動しながら、よか～気分でお出かけしております。

さて待ちに待ったモンゴル出張が近づいてまいりました。5月に青少年モンゴル訪問団の募集をかけ、80名を超える応募の中から10名の団員が選ばれました。毎週水曜日のモンゴル語講座に参加してくれて、モンゴルに対しての知識と団員同士の絆も深まってきたところです(^)/

私は初めての海外なのですが、こうやって10名の中学生と一緒にモンゴルに行けることが非常に嬉しいです。みんなのお母さんとしてお世話をすることを楽しみにしています。

家族と1週間ほど離れて生活するのも初めてなので、今までにない夏をたくさん経験しますが、二回りくらい大きく成長して帰ってきますね。(いろんな意味で)

追伸:どうか、出張中うちの子どもの宿題が終わっていますように～

[中瀬]

7月に都城での初登山を体験しました。夜3時過ぎに満天の星のもと、えびの高原より韓国岳を登り始めました。予定どおり、日が出る前に頂上に着きました。その日は天候に恵まれて、雲海も、日の出も最高で、「高千穂峰」「新燃

岳」「大浪池」「桜島」を眺めることができまして、本当に素晴らしいかったです。日の出を満喫して下りる途中、一頭の鹿に出会いました。野生ですが、人を気にせず、平然と草を食べていました。こんな素晴らしい初体験ができたので、これから、都城の周りの山をもっと登りたいと思います。

[れいか]

8月3日に盆地祭りが行われました。昨年にも踊り連に参加させていただきましたが、今年は少し上手になってきた気がします。まあまあ下手なのは変わりませんけどね。

下手であればこそ、歩道を通り過ぎるお客様に胸を振り、心を込めて、サンバヤッサを上手に踊ることができたんです。

何かが上手にできるはずのときに下手にやると、落ち込むことがあるでしょう?もちろん、何かを向上させるためには仕方ないのですが、たまには自分に期待せず、得意でないことをやることで、心がリフレッシュされ、得意な分野に戻るとさらに上手にできるようになると思います。

というわけで、私は2年目としてやる気満々で楽しくサンバヤッサを踊ってみました。自分の踊りの能力に何も期待していないのをいいことに、来年もいれば、皆さんと一緒にもう一度参加する予定です。その時が来るまで、全然練習せずに楽しみにしています! [セス]

皆さん、サエンバエノー!

都城は猛暑の日々が続いています。自分の出身地のウランバートルは朝晩が冷え込む時期です。モンゴルでは「ナードム」の後は秋と言います。ナードム祭は7月11日からほぼ1週間ですが、その時期に合わせて長期休みをとる人が多いです。一年で一番快適な時期に家族や仲間たちと田舎に行ったりします。そして、8月中旬から秋の準備に全力!幼稚園をはじめ大学の新学期は9月スタートのため、みんな忙しくなります。

ところで、皆さんは今年の夏休みはいかがお過ごしでしょうか。ヒシゲは、真夏ですが、登山をしたり、朝ランニングをしたり、ホットヨガに行ったり、暑さに負けず、元気に過ごしています!

*ナードム:モンゴル最大級の夏まつり

[ヒシゲ]

毎日暑いが続いています。その暑さに負けて、ついに、エアコンを取り付けました。今までこの暑さをどう凌いでいたのだろうと、思う毎日です。8月24日は、交流ナイトを開催します。皆様の参加をお待ちしています。

[藤元]

以前に習ったモンゴル語や中国語をその国の人に使うと、「今はその言葉、あまり使いませんよ」と言われることが増えてきました。要は、私の使う言葉が古くなっているということですね。それで最近、恐る恐る且つ小さな声で、この言葉であっていますか?という雰囲気を出しながら使うようにしています。時の流れと言葉のアップデートを思い知らされた出来事でした。

[迫田]

8月24日に、福岡市で開催される九州吹奏楽コンクールに、県代表で選ばれた3校の一つが都城市の庄内中学校だったことを、新聞記事で知りました。自由曲が「大いなる約束の大地～チングス・ハーン～」で、部員の皆でストーリーを考え、同じイメージを共有して演奏していただいたそうです。モンゴル人として、嬉しさが膨らむ一時でした。今回、二回目の代表選考に選ばれた25名の部員の輝かしい成果を心より願っております。 [ソヨ]